

心かよう医療の花を咲かせます



倉敷市立市民病院

看護師募集のご案内

Kurashiki Municipal Hospital
Recruitment Guide



- mission
- motivation
- cooperation
- warm



病院へは、JR児島駅から徒歩10分!
(JR岡山駅～児島駅へは、マリンライナーで22分)
自動車通勤も可です。四国方面からも通勤可能

募集スケジュール・受験案内

「倉敷市立市民病院ホームページ」を
ご覧ください。



受験申込の問合せ

倉敷市職員採用試験委員会(倉敷市立市民病院事務局内)
〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地 TEL(086)472-8111



倉敷市立市民病院

〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地

TEL 086-472-8111 FAX 086-472-8116
<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/hospital/>

基本理念

市民に信頼される地域の中核病院を目指します

人間味あふれる温かな医療を実践する病院を目指します

看護科の基本理念

私たちは看護の水準を高め
安心・安全、そして人間味あふれる
温かな看護を実践します



求める人材

使命感を持ち
向上心の強い人

環境の変化に対応でき
意欲のある人

協調性のある
温かい人

基本方針

- 市民が利用しやすかつ患者中心の良質な医療を公平に提供するように努める。
- 地域の中核病院として市民のニーズに応え、初期・二次救急医療、小児の夜間救急の充実に努める。
- 採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、公立病院として地域医療の確保に努める。
- 市民の健康保持と福祉の増進を図るため、予防医療の充実に努める。
- 地域医療の向上のための病診連携を図り、病床の一部を開放病床とする。
- 病院の健全経営に努め市民の信頼に応える。
- 疾病構造の変化に対応し得る医療体制の整備に努める。

看護部長からのメッセージ

当院は倉敷市の南端に位置し、岡山駅から30分程度という交通の便に恵まれ、鷺羽山・ジーンズストリートなど若者に人気の観光名所も近く、大変住みやすい場所にあります。

昭和25年に設立された歴史ある病院であり、倉敷市唯一の公立病院です。昭和48年に現在地に移転し、地域密着型の中核病院としての役割を担っています。

また、平成28年度からは、念願の分娩の取り扱いを再開し、新たな生命が誕生しています。そして平成30年4月1日に新病院が開院し、「倉敷市立市民病院」として新たな一歩を踏み出しました。患者様やご家族の気持ちに寄り添うとともに、より高度な急性期医療・看護の体制が整えられたと実感しております。



新たな生命の誕生を支える病院として、一般急性期病院として、救急救命センターからの受け入れ病院として、そして人生の最終段階を安らかに過ごしていただける支援病院として、おひとりおひとりの病状や生活環境に応じたきめ細やかな人間味あふれる看護実践を目指しています。新しく生まれ変わった病院で、私たちと一緒に夢を持って働いてみませんか。皆様の新しい力をお待ちしております。

施設の概要

【診療科目】(22科)

内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・緩和ケア内科・外科・脳神経外科・整形外科・形成外科・精神科・アレルギー科・リウマチ科・小児科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科

塔 屋		フロア案内	
		【病院立面図】	
6F	病 棟・会議室		
5F	病 棟・リハビリテーション		
4F	レディース病棟	病 棟	
3F	病 棟	病 棟	
2F	外来・化学療法・手術・中央材料・薬剤・厨房・事務・管理・医局/第2診療棟・健診センター		
1F	外来・救急・放射線・臨床検査・地域医療連携・医事・売店・レストラン		



最新の医療設備を導入した、
「倉敷市立市民病院」が
開院しました。

新人看護師

実地研修制度を行っています!!

- リアリティーショックを克服し、
配属部署で楽しく看護ができるように支援します。
- 各部署で短期間ずつ研修を受け、
希望の部署に配属できるようにマッチングをします。

実地研修内容

院内の各部署を短期間でローテーションしながら研修をし、
各部署の特徴的な看護技術などを学んでいただきます
その上で、貴方に合った部署で共に看護していきましょう



事例検討

3年目

理論と実践の統合
(インシデント症例)

事例検討

2年目

根拠に基づいた看護ケア
(看護判断、問題解決)



プリセプター制度

病棟に配属されてから、
プリセプターが中心となって
新採用者の支援を行っています。

1年目

新採用者研修

4月

辞令交付
オリエンテーション

看護科研修

看護科組織・概要
看護科理念・方針・目標
医療安全
感染防止
看護者の倫理
電子カルテ
看護技術(デモスト、OJT)
プリセプターとの交換日記

コメディカル研修

リハビリや臨床検査室、
薬局など院内のコメディカル
部門へ1日留学します

5月

院内実施研修

・6つの病棟を数日ずつ体験し、
看護技術をひとつずつ確実に
習得します
・手術室や各外来も体験します

6月

フォロー研修・振り返り

3ヶ月フォロー研修

看護技術チェック

11月

6ヶ月フォロー研修

看護技術チェック

3月

1年振り返り

看護技術チェック

分娩

4階東病棟は、レディース病棟です。産科のエリアは、
赤ちゃんの安全を確保するためセキュリティ区域に
なっています。分娩室は従来の分娩室に加え、LDR
(入院から出産後まで過ごせる部屋)も設けており、
家族の立ち会いもできるよう設備を整えました。
新生児室はデイルーム前にあり、入院中の赤ちゃん
に家族で面会できるスペースになっています。母児
同室を基本に母乳育児支援を行い、退院までお母さん
と赤ちゃんに寄り添いケアを行っています。日々、
元気な赤ちゃんが生まれています。



チーム医療に取り組んでいます。



糖尿病チーム

当院では、医師・看護師(認定看護師在職)・栄養士・薬剤師・理学療法士・検査技師・事務員が糖尿病患者様を中心とした、チーム医療に取り組んでいます。糖尿病教室は各職種担当が2ヶ月に1回の割合で、児島地域の糖尿病患者様や家族、糖尿病に興味のある方に向けて、無料で開催しています。また、糖尿病教育入院もあり、患者様にインスリン自己注射手技や自己血糖測定手技ができるよう指導したり、糖尿病の知識や正しいセルフケアマネジメントを身につけてもらい、合併症の発症予防や進展予防の支援をしています。

緩和ケアチーム

緩和ケアは身体のだらさ、気持ちのだらさ、生活のだらさを抱えた患者様とご家族を総合的に支えていく医療です。医療用麻薬などで症状コントロールを必要とする患者様を対象に、医師・緩和ケア認定看護師・薬剤師など多職種がチームとなりカンファレンスを行いケアを行っています。また週1回、岡山大学病院派遣の緩和ケア専門医師による回診があり、指導を受けています。精神的苦痛が強い場合、月2回岡山大学病院の精神科医師にコンサルテーションして専門的な対応を心がけています。

「たとえ苦しみの原因となっている病気を治すことができなくても、なお私達が苦しむ患者様やご家族の力になることができる」と信じて、一緒に取り組んでいきましょう。

チーム活動 セーフティーマネージャー

各部門から報告されるインシデントやアクシデント事例を聞き取り、原因を分析し、改善策に対する介入を行っています。また医療安全研修の企画運営や全国的な情報や院内のアクシデント事例など最新情報を掲載したリスク新聞をリアルタイムに発行するなど医療安全の啓発・啓蒙活動を行い、患者様や医療従事者など病院に関わる全ての安全を守る活動を行っています。



先輩職員からのメッセージ

私の第一歩はここから

石津 未紗

Misa Ishizu

新病院になると同時に新卒として入職しました。一人前の看護師に自分になれるのだろうか、不安と同時に希望を抱いて社会人1年目がスタートしました。今は、日々業務の中で、経験を積むことにより、処置やケアに自信を持って行えるようになりました。

先輩看護師は知識も経験も豊富で、わからないことがあると丁寧に教えてくださり、悩んでいることがあると一緒に解決策を考えてくださいます。職場はとても雰囲気がよく、毎日楽しく仕事ができます。

看護師として私はまだまだ未熟で、本来の業務を全うできているとは言えないレベルです。先輩方から学ぶことも多く、日々勉強が必要だと痛感しています。先輩方のお力添えをお借りして、ひとりひとりの患者様を大切に、この看護師と関わって良かったと思われるよう、今後もスキルアップをめざして努力していきたいと思います。



やりがいを持って

佐藤 莉帆

Riho Satou

新卒として入職し、社会人・看護師として1年目で不安と緊張でいっぱいスタートでした。しかし、何も分からない私に先輩方は優しく丁寧に教えてくださり、改善点に対しても細かくアドバイスをしてくださいました。また、疑問・不安に思うことや初めての看護技術を実施するにはサポートしてくださるので安心して働くことができました。1年間経過し、まだまだ未熟ではありますが、業務や看護技術に自信をもって実施することも増えてきており、充実した日々を送ることができています。患者様やそのご家族の意見をしっかり聞き、他職種と連携をとりながら個別性のある看護を行っていきけるよう努力していきたいと思います。



院内保育所利用者からのメッセージ

星島 衣理

Eri Hoshijima

病院内に託児所が整備されていることで、大変助かっています。

育児休業後の職場復帰に伴い、子供を「くすの木」に預けることになり、今は息子がお世話になっています。

初めはなじめるのかと不安に思いましたが、毎朝先生たちの明るい挨拶と笑顔でのお出迎えによりその不安もすぐに解消されました。



保育園では季節に応じたイベントを企画していただき、子供の成長過程に合わせた保育をしてくださいます。

天気のいい日は、散歩に行ったり、公園で遊ぶことも多いと聞いており、息子も楽しく過ごせているようです。

また、体調の変化にも柔軟に対応してくださり、安心して職務につくことができています。

息子と一緒に出勤ができ、退勤後もすぐに迎えに行けるので、送迎に時間がかからないところも魅力です。

院内保育園は、「子育てしながらでも安心して働ける」仕事と育児の両立を考える上で、なくてはならない存在だと感じ、感謝しています。



院内保育所「くすの木」



子育てしながら
自分も成長できる職場です

仕事と子育てを両立しながら安心して業務に専念できるように院内保育所を整備しています。

大きな窓から日差しがたっぷり降り注ぐ保育室、水遊びが楽しめる芝生の庭など子どもたちが笑顔で過ごせる真新しい施設を病院敷地内に設けました。子どもたちの安全・安心に配慮した設計です。

専門講師によるリトミックや多彩な行事も取りそろえ、子どもたちの成長を見守っていきます。

保育所運営概要

- 保育定員 10名
- 入所対象 生後2ヶ月から小学校就学前までの乳幼児
- 保育料 1人：日額1,200円(第2子：半額)
- 給食 病院提供
- おやつ 1日2回(午前・午後)
※延長保育のとき1回

